

栃木市長 大川 秀子 様

大平地域会議  
会長 藤野 晴彦

令和4年度実施分  
栃木市地域予算事業計画書

栃木市地域づくり推進条例第5条及び栃木市地域予算提案制度実施要領第5の規定により、下記のとおり地域の課題の解決及び地域活性化のための事業計画を提出しますので、事業実施に必要な財政的措置を講じられますようお願いいたします。

記

【事業総括表】

番号	事業名	事業費（千円）	担当部課
1	大平地域交通事故防止対策事業	363	交通防犯課
	計	363	

提案限度額	363	
-------	-----	--

(添付資料)

- ・事業概要書
- ・予算見積書

事業概要書

事業番号

1

地域会議名	大平	地域会議	実施年度	平成28～令和4年度			
事業名	大平地域交通事故防止対策事業		分類	新規	継続		
地域課題	危険な自転車走行による事故が社会問題となり、道路交通法が平成27年6月1日に改正され、自転車の交通ルール違反に対する罰則が厳しくなった。 自転車による事故の防止・減少、交通安全の意識向上の啓発が必要である。						
課題の選定理由	自転車による事故の防止・減少、交通安全の意識向上の啓発のため、スケアードストレート方式(※)による交通安全教室を実施することを提案する。 (※プロのスタントマンが交通事故を再現することにより、事故の恐怖や衝撃を実感させる方式) 令和3年度は大平南中学校を会場に実施。令和4年度は高齢者向けに者向けに実施することで、高齢者の交通事故防止の意識向上に繋がる効果が期待できる。						
事業概要	目的	市民の交通安全意識の向上					
	内容	日々の生活において、自転車を利用する機会の多い高齢者を対象に、交通安全・交通ルール厳守の意識向上啓発のため、スケアードストレート方式による交通安全教室を実施する。					
	実施期間	平成28～令和4年度					
	担当部署	生活環境	部	交通防犯	講室	交通防犯	係
	役割分担	【行政】 交通安全教室の開催及び周知			【地域】 交通安全教室への参加		
行政関与の妥当性	【担当部署意見】 事故防止の意識向上に効果的であり、妥当と考えられる。						
事業評価	成果見込み	市民の交通安全意識の向上が図れる。					
	今後の取組み	大平地域の高齢者や中学生を対象として継続的に開催を検討。					
年度別事業費 (千円)	年度	H30	R1	R2	R3	R4	総計
	事業費	364	363	363	363	363	1,816
	維持管理費	0	0	0	0	0	0
	合計	364	363	363	363	363	1,816

予算見積書

事業番号

1

款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	14 地域づくり費	
地域会議名	大平 地域会議					
事業名	大平地域交通事故防止対策事業					
本年度予算額(千円)①	前年度予算額(千円)②	比較 ① - ②			分類	
363千円	363千円	0千円			新規・ <u>継続</u>	
事業概要	高齢者に対する交通安全の意識高揚を図るため、高齢者向けスクアードストレート方式による交通安全教室を実施する。					
節・細節	本年度(千円)	前年度(千円)	比較	説明/積算式		金額(千円)
13 委託料	363	363	0			
01 委託料	363	363	0			
委託料	363	363	0	交通安全教室業務委託料		
				363,000円×1回=363,000円		363
計	363	363	0			